

第8回 8th Kagoshima University Symposium for Infection Control

鹿児島大学感染症制御 のためのシンポジウム



令和6年12月18日(水) 15:00～17:00

【会場】 鹿児島大学医学部鶴陵会館 中ホール

.....鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1.....

一般講演

1. 新規抗インフルエンザウイルス剤候補Vidofludimusの発見

ヒトレトロウイルス学共同研究センター ウイルス情報テクノロジー研究分野
大学院修了生 李 佳洲

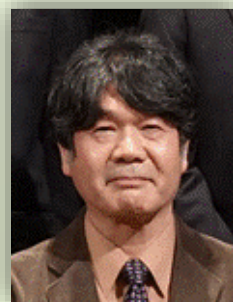
2. 牛の遺残臍帯感染症原因菌の探索

鹿児島大学共同獣医学部 附属越境性動物疾病制御研究センター
助教 井尻 萌 先生

特別講演

1. B型肝炎ウイルス感染制御法開発の取組

公益財団法人 広島生命科学研究所
主任研究員 土方 誠 先生



2. ロタウイルスの人工合成技術とその多様な展開

大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫分野
教授 小林 剛 先生



主催：ヒトレトロウイルス学共同研究センター 鹿児島大学キャンパス

共催：鹿児島大学共同獣医学部 附属越境性動物疾病制御研究センター（TADセンター）

対象：学生、職員、一般の方等、興味のある方はどなたでも参加可能

※ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科博士課程学生は、共通コア科目「医学研究講義」の出席回数にカウントされます。

お問い合わせ：ヒトレトロウイルス学共同研究センター 事務室 099-275-6246

（対応可能時間 平日 9:00 ～ 16:00）

